

飼料流通・製造合理化

【令和7年度予算概算決定額 1,760（1,820）百万円の内数】

＜対策のポイント＞

飼料輸送に携わるトラックドライバーの人材確保や環境負荷軽減のために、飼料輸送の効率化に資する実証等の取組を支援するとともに、効率的な配合飼料製造・供給を図るため、配合飼料工場の事業再編に向けた調査等の取組を支援し、安定的な飼料流通により畜産生産基盤を維持・強化することで、国民への畜産物の安定供給を図ります。

＜事業目標＞ [平成30年度→令和12年度まで]（※目標は酪肉近に記載。令和7年3月末目途に改訂予定）

- 生乳生産量：728万トン→780万トン※
- 牛肉生産量：33万トン→40万トン※
- 豚肉生産量：90万トン→92万トン
- 鶏肉生産量：160万トン→170万トン
- 鶏卵生産量：263万トン→264万トン

＜事業の内容＞

1. 飼料流通合理化対策

飼料輸送効率化等支援事業

飼料輸送の効率化に資する実証等の取組を支援します。

- （例）
- ① 飼料タンク内の在庫を把握し、情報共有するためのIoT機器の導入等の取組
 - ② 農場内での高所作業の負担を軽減するための飼料タンク蓋遠隔開閉装置の導入や労働環境改善に向けた取組
 - ③ モーダルシフトに関する取組や、ストックポイントを活用した輸送の効率化に向けた取組

2. 配合飼料製造合理化対策

配合飼料製造体制構築検討支援事業

配合飼料製造業者等が行う配合飼料工場の事業再編に向けた調査や計画策定の取組等を支援します。

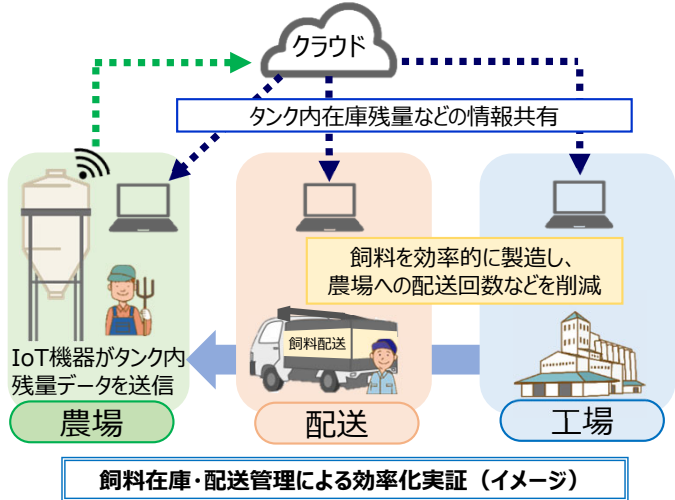
＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

1. 飼料輸送効率化等支援事業（補助率：定額、1/2以内）

飼料輸送の効率化の実証に必要なIoT機器、飼料タンク蓋遠隔開閉装置の導入・設置経費及びモーダルシフト実証経費等を支援



2. 配合飼料製造体制構築検討支援事業（補助率：定額）

効率的な配合飼料製造・供給を図るため、事業再編に向けた検討会の開催、事例調査、地域における事業再編計画の策定の取組を支援

